

建交労大阪府本部 機関紙



発行元 府本部
電話 06-4800-7115

関西支部第57回定期大会開催

建交労関西支部は10月23日～24日、大阪市淀川区の建交労会館で第57回定期大会を開き、代

議員と役員59人が参加しました。さまざまな活動を制限せざるを得ない状況下でも感染対策を講じながら運動を進めてきた経験をふまえ、代議員からも積極的な発言が相次ぎ、すべての組織と組合員が果たすべき課題と役割を明確にした2022年度運動方針を確立しました。

1日目は、北村副委員長より開会あいさつ、議長団、資格審査・議事運

営・選挙管理委員・大会書記・大会事務局の選出・任命などを行った後、議事に入りました。本多委員長のあいさつに続いて、建交労中央本部から駆けつけていただいた森谷中央副委員長のあいさつを受け、藤川書記長が21年度経過報告、22年度運動方針案を提案しました。支部の組織的な停滞から躍進に向けた課題として、職場組織の機能強化が欠かせないことが強調されました。

建交労会館(関西支部会館)



し、討論が行われました。

2日目は、最初に芦崎大会書記長から祝電・メッセーじが紹介され、その後、藤川書記長より総括答弁が行われ、討議の中で出された質問にも回答しました。続いて、21年度会計報告と会計監査報告、22年度予算案の提案を受けました。運動方針とともに「22年度の重点要求・課題でのスト権確立」と大会宣言、特別決議「全組合員の総力をあげて仲間のくらしと健康を守る たたかいをひろげ早期の1000名支部建設をめざそう」、予算・決算などが全会一致で採決されました。

なお、例年恒例の機関紙表彰は、今年も該当なしとなりました。

その後、山内副委員長の閉会あいさつがされ、本多委員長の音頭でガンパロウ三唱して大会を終えました。

関西ダンプ支部第48回定期大会開催

関西ダンプ支部は、2021年11月7日(日)茨木市クリエイトセンター302号室にて午前10時30分から第48回定期大会を23名の参加で開催しました。

この1年は、組合員10名増・4名減、増勢の92名の組織現勢で大会を開催し、使用促進では新名神工事に毎日3台が就労しています。延べ583台が就労しました。さらに、トラック運転手解雇(大西物流〓本社愛媛県)争議闘争の報告や新職場公然化の取り組み等を報告、高槻砕石分会では夏季一時金要求書を提出し、10万円/人の要求獲得で協定書を交わしました。さらに、委託・請負で働く三和サービズ分会では、2名が退社に伴い

減となったが、新たに2名の組織拡大を行い33名を維持しています。討論の中では、一昨年8月に加入公然化したテシコー(株)に働くダンプ雇用運転手が初めて大会に参加し、有給休暇所得・賃上げ・一時金獲得・未払い賃金を勝ち取った報告を荻田副委員長から行い、その実利獲得の影響を受け、親会社の大幸工業の運転手5名が加入

し、10月28日公然化を行って闘っている報告を行いました。



経過報告・決算報告の承認を受け、大会方針で

組合員の諸要求実現と政党支持・政治活動の自由を保障し、政治的自覚を高めるための学習強化、労働者・国民が主人公になり安心して暮らせる社会の実現をめざす運動方針(案)と予算(案)を決定しました。

役員選挙は、定数内の立候補者全員が信任されました。

執行委員長	前村 和弘
副執行委員長	池辺 保明
副執行委員長	荻田 智
執行委員	小園 真吾
執行委員	中村 通
執行委員	大林 孝廣
会計監査	地村 光
会計監査	川上 秀樹

なお、関西ダンプ支部第48回定期大会において、中川慶学執行委員が退任されました。

在任中のご厚情に対し、心から感謝申し上げます。

神田支部第87回定期大会開催

建交労神田支部第87回定期大会が10月3日

(日)にオンラインを併用したリモート方式で開催され、カンダ三本社と各分會をズームでつなぎ執行部17名、代議員35名が参加しました。冒頭、執行部代表上村委員長のあいさつでは、新型コロナウイルス感染により多くの人が犠牲となり、未だ終息が見えない中、いのち・くらしを最優先にした希望のある政治へ転換をはかるため、秋の総選挙では参政権行使を広く呼びかけ、労働組合として奮闘していこうと強い決意が述べられました。神田支部組織建設については、未組織であった職場の内、1社の組織化が進み、当面の目標であった1800名組織建

設が達成された現在、あらたに神田支部2000名組織建設を目標として設定し、組織強化を目指したいとあいさつを締めくくりました。第1号議案・第2号議案として石塚書記長からカンダホールディングスの今期業績見通しと21春闘の総括を含む一般経過報告と2022年度運動方針(案)が提案されました。カンダグループ内においても新型コロナウイルス感染のクラスターが数職場で発生し、業務に大きな支障が出たとの報告があり、今後もワクチン接種推奨を含む感染症対策を労使で取り組んでいく必要があると報告がありました。また、2023年の割増賃金の引き上げ、2024年に適用される



上村執行委員長



運転手職種の時間外労働の上限規制を踏まえ、カンダグループ内においても賃金・労働条件のあるべき姿を労働組合として策定することを目的に賃上げ・労働条件検討委員会(略称・政策委員会)が神田支部内に設置されたとの報告がありました。その後、大貫常任より第3号議案・第4号議案として2021年度会計報告と2022年度予

算編成(案)が提案、大塚会計監査より監査報告がありました。第5号議案の規約改正(案)と第6号議案の特別報告は、石塚書記長から提案されました。質疑・討論では、各分會から職場での感染症対策、職場要求の進捗など、青年婦人部と12分會から報告があり、その発言を受けて石塚書記長の答弁がありました。活動報告の後、議案の採決

が行われ、決議、大会宣言、大会スローガン「コロナ禍でも労働組合としての団結力を示し、組織的力量強化に向けてさらなる躍進を！」を確認、新年度役員選挙結果の報告を受け、提案されたすべての議案は確認されました。最後に奥貫副委員長より閉会のあいさつと吉田青年婦人部長の団結ガンバローで第87回神田支部定期大会が終了しました。